

令和8年度 9月補正予算(案) 概要

#MAIZURU



舞鶴市
MAIZURU-CITY

補正予算の特徴

◆子育て環境のさらなる充実

→「ベビーケアルーム設置事業費」

◆防災対策による安全なまちと安心して暮らせる支え合いのまちの実現

→「ヘリコプター臨時離着陸場整備事業費」(ヘリポート整備事業)

→「民生児童委員等への活動に対する支援」

◆地域が共同して行う効率的な営農や里山整備活動を応援

→「集落営農経営力強化事業費補助金」

→「山から地域を元気にする事業費」

1 令和8年度9月補正予算案について

予算規模

(万円未満切捨)

会計名	補正額
一般会計(第3号)	2億5,472万円

令和8年度 当初予算	6月補正 (追加含)	9月補正	9月補正後
420.4億円	1.6億円	2.5億円	<u>424.5億円</u>

下水道事業会計(第1号)※ 債務負担行為の変更	-万円
国民健康保険事業会計(第1号)	594万円
介護保険事業会計(第1号)	1億5,598万円

1 令和8年度9月補正予算案について

《歳出内訳 ※主な事業一覧》

(万円未満切捨)

新	一般	ベビーケアルーム設置事業費	669万円
拡	一般	ヘリコプター臨時離着陸場整備事業費(ヘリポート整備事業)	3,262万円
継	一般	消防施設整備事業費(うち、救急自動車整備分)	-万円
拡	一般	民生児童委員活動費、民生委員地域福祉活動促進費補助金	121万円
拡	一般	子育て支援医療助成費	192万円
新	一般	集落営農経営力強化事業費補助金	1,865万円
拡	一般	山から地域を元気にする事業費	151万円

希望がもてるまちづくり

<子育て・教育環境の充実>

新 ベビーケアルーム設置事業費

669万円

乳児を連れた子育て世帯にとって、外出先でも安心して **授乳や搾乳、おむつ替え等ができるスペースの確保** は大変重要である。

➡市内の公共施設に **ベビーケアルームを設置** し、安心して **子どもを生み育てることができる環境づくり** のさらなる充実を図る。

設置場所

子育て交流施設あそびあむ	1台	
KYOEIアリーナ(舞鶴文化公園体育館)	1台	計2台

財源

ベビーケアルーム設置促進事業補助金
(補助率 10/10(上限400万円/箇所))



1 令和8年度9月補正予算案について

安全で安心なまちづくり

＜防災・減災対策の強化＞

拡 ヘリコプター臨時離着陸場整備事業費（ヘリポート整備事業）

3,262万円

集落孤立化のおそれがある大浦半島北東部の **田井・成生地区を対象** として、**田井地区** に、ヘリコプター臨時離着陸場を整備

⇒従来の陸路・海路による避難に加え、**空路による避難体制を確立** することにより、**避難の重層化を図り、市民の安全・安心を確保する。**

＜補正予算による追加工事＞

ヘリコプター臨時離着陸場地盤改良工事 3,155万円

田井原子力防災センター防風対策工事 107万円



1 令和8年度9月補正予算案について

<安心して暮らせる支え合いのまち>

拡 民生児童委員活動費 民生委員地域福祉活動促進費補助金

121万円

地域社会が抱える課題の多様化・複合化に伴い、**民生児童委員の活動への負担**が増大する一方、**地域の見守りや専門機関へのつなぎ役**としての期待は大きい。

⇒民生児童委員及び民生児童委員協議会に対する助成を **増額し、活動環境の整備と活動支援を推進**するもの。

【民生児童委員活動費】

民生児童委員への活動費補助

基準単価 3,800円 × 定数 289人 = 1,098,200円

【民生委員地域福祉活動促進費補助金】

各民生児童委員協議会 (市内16地区)への事業費補助

基準単価 7,000円 × 16単位民児協 = 112,000円



1 令和8年度9月補正予算案について

拡 子育て支援医療助成費

192万円

令和9年4月診療分から京都府の子育て支援医療費助成が制度拡充を予定していることに伴い、業務支援システムを改修し、公費負担者番号の変更対象となる児童に対し受給者証を交付し発送する。

京都府助成制度			舞鶴市助成制度
	0～小学生	中学生	高校生世代
入院	200円/月 (1医療機関)	200円/月 (1医療機関)	200円/月 (1医療機関)
外来	200円/月 (1医療機関)	1,500円/月 ⇒ 200円/月 (1医療機関) ※市の独自助成により、窓口負担は 200円/月 (1医療機関)	200円/月 (1医療機関)

- システム改修費用 86万円
- 受給者証印刷・発送等 106万円

魅力あるまちづくり

＜地域産業が元気で、いきいきと働けるまち＞

新 集落営農経営力強化事業費補助金

1,865万円

農業者の減少や高齢化が進む中、農業・農村を次の世代に確実に引き継いでいくため、農業者が共同で **効率的な生産・販売体制等を確立** する必要がある。

⇒「**共同利用機械の導入**」を支援し、**将来にわたる持続的な営農**を目指す。

【補助対象・補助率】

集落の40%以上の農地を集積する集落営農組織
事業費の1/2(①は上限400万円)

【補助内容】

- ① **経営力強化** 整備事業 1,393万円(6地区)
コンバイン等の経営効率向上に資する機械の導入経費
- ② 農地 **管理省力化** 整備事業 472万円(5地区)
農業用ドローン等の農地管理省力化機械の導入経費



拡 山から地域を元気にする事業費

151万円

里山保全活動に取り組む地域や団体を積極的に支援
➡ **放置竹林の減少** や **里山林の整備促進、景観保全、獣害・自然災害のリスク低減等** を目指すとともに、活動を通じた **地域コミュニティの活性化** を図る。
※森林環境譲与税活用事業

【補助対象】里山整備・保全等に年3回以上取り組む地域や団体
(補助対象経費 10万円以上)

【補助率】 定額(上限 50万円)

【対象経費】機械購入・修繕費、保険料、資機材レンタル費、
日当、伐採等委託費、里山イベント開催経費など

【交付申請状況】申請数 **30**団体
交付申請総額 **1,451**万円
(当初予算額のうち、補助事業分 1,300万円)

